

(仮称)甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価

方 法 書

平成 19 年 9 月

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合

目 次

	page
第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1
1.1 事業者の名称	1-1
1.2 代表者の氏名	1-1
1.3 主たる事務所の所在地	1-1
第2章 対象事業の目的及び内容	2-1
2.1 対象事業の種類及び名称	2-1
2.2 対象事業の目的及び内容	2-1
2.2.1 対象事業の背景と目的	2-1
2.2.2 対象事業の内容	2-1
(1) 対象事業実施区域	2-1
(2) 事業概要(その他の施設含む)	2-4
(3) ごみ処理施設の施設計画	2-8
(4) その他の施設(最終処分場)の施設計画	2-17
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3-1
3.1 対象事業実施区域及びその周辺の概況を把握する地域	3-1
3.2 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3-3
3.2.1 自然的状況	3-3
(1) 大気環境	3-3
(2) 水環境	3-18
(3) 土壌及び地盤環境	3-25
(4) 植物、動物及び生態系	3-30
(5) 景 観	3-46
(6) 人と自然との触れ合いの活動の場	3-46
(7) 歴史的・文化的環境	3-48
(8) その他の事項	3-52
3.2.2 社会的状況	3-55
(1) 行政区画	3-55
(2) 人 口	3-57
(3) 産 業	3-61
(4) 土地利用	3-69
(5) 環境保全についての配慮が特に必要な施設の状況	3-72
(6) 水利用	3-76
(7) 交 通	3-78

(8) 環境整備	3-80
(9) 関係法令等の指定、規制等	3-86
第4章 対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	4-1
4.1 環境影響要因の抽出	4-1
4.2 環境影響評価の項目の選定	4-4
4.3 環境影響評価の調査、予測及び評価の手法の選定	4-26
4.3.1 環境の自然環境的構成要素の良好な状態の保持のため	
調査、予測及び評価されるべき項目	4-29
(1) 大気汚染	4-29
(2) 悪臭	4-43
(3) 騒音	4-46
(4) 空気振動(低周波音)	4-55
(5) 振動	4-56
(6) 水質汚濁	4-64
(7) 水象	4-70
(8) 地盤沈下	4-75
(9) 土壌汚染	4-77
(10) 日照障害	4-80
4.3.2 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として	
調査、予測及び評価されるべき項目	4-81
(1) 陸上植物	4-81
(2) 陸上動物	4-84
(3) 水生生物	4-89
(4) 生態系	4-92
4.3.3 人と自然との豊かな触れ合いの確保のため調査、予測及び評価されるべき項目	4-94
(1) 景観・風景	4-94
(2) 人と自然との触れ合いの活動の場	4-97
4.3.4 環境への負荷の量の低減のため調査、予測及び評価されるべき項目	4-100
(1) 廃棄物・発生土	4-100
(2) 大気汚染物質・水質汚濁物質	4-102
(3) 温室効果ガス等	4-103
第5章 環境影響評価方法書作成の委託先	5-1
第6章 方法書に対する意見及び事業者の見解	6-1
資料編	7-1